

先生から受け継いだ
文台、大切にしないと…

田中大秀の弟子で、
花里文庫を設立した
地役人山崎弘泰

今月は
あそこに出張か…
少々遠い…

あの和歌の題目、
何にしようか…

今日は郡代の巡見に
付き添わねば。

飛騨の代表的地誌
「斐太後風土記」の
著者でもある地役人
富田礼彦

今日の出来事
を忘れないよう
日記に書いて
おかないと…

腰が痛いので
按摩をして
もらおう。

令和六年度 冬季特別展

幕領飛騨の地役人

ー 多忙な行政マンのワークライフバランスー

令和7年 1月11日(土)～3月23日(日)

飛騨高山まちの博物館 特別展示室 主催 高山市教育委員会

地役人が働いていた高山陣屋(高山陣屋提供)



令和六年度 冬季特別展

幕領飛騨の地役人

ー多忙な行政マンのワークライフバランスー

江戸時代の飛騨国は、大名である金森家による国内支配から、幕府直轄となり代官・郡代を頂点とした政治体制へ転換します。代官・郡代を頂点とした政治体制下で国内の村々や山林に赴き、行政実務にあたったのが地役人です。本展では、飛騨の国内行政を支えた地役人について、陣屋における行政組織、地役人の担った業務、地役人を務めた家々、そして地役人が残した文芸作品、江馬修が著した「山の民」に描かれた地役人に焦点をあて、関係資料を紹介します。



高山陣屋で地役人吉住礼助が使った「御用箱」
(高山陣屋蔵)



地役人富田礼彦が公務で書き残した文書群
「富田家文書」(当館蔵)



地役人市村鳳頂が描いた
水墨画「寿老」(当館蔵)



地役人を務めた家に伝わる
「霊剣 寿命」(不破家蔵)

ー関連事業ー

◆記念講演会

各地の地役人と比較し、飛騨の地役人の特徴を紹介します。

日時: 令和7年2月24日(月、振休) 午後1時30分～3時

場所: まちの博物館 研修室

講師: 戸森 麻衣子氏(東京農業大学非常勤講師)

申込: まちの博物館の下記番号へ電話、または右の

申込フォームから申込

申込フォームURL: <https://logoform.jp/f/GKIVu>

申込期間: 2月1日(土)から15日(土)まで

◆学芸員によるギャラリートーク

日程: 1月18日(土)、2月8日(土)、3月8日(土)

時間: 午後1時30分～(30分程度)

申込: 不要

当館学芸員が特別展の解説を行ないます。



講演会
申込フォーム

飛騨高山まちの博物館

〒506-0844 岐阜県高山市上一之町75番地

TEL: 0577-32-1205 FAX: 0577-35-1970

メール: machihaku@city.takayama.lg.jp

開館時間: 9時～19時(会期中は無休)



MACHIHAKU1953

まち博公式 instagram

